

茨城県公立高 2021年

- 1 【解き方】 (得失点差) = (得点合計) - (失点合計) だから、アに当てはまる数は、 $3 - 7 = -4$   
 【答】 - 4

大阪府公立高 2021年

- 2 【解き方】  $a$  は正の数、 $b$  は負の数、 $a + b$  は、(正の数) + (負の数)、 $a - b$  は、(正の数) - (負の数) となるので、 $a - b$  が最も大きい。  
 【答】 エ

大阪府公立高 2021年

- 3 【解き方】 絶対値が  $n$  より小さい整数の個数は、1 から  $(n - 1)$  までの  $(n - 1)$  個と、 $-1$  から  $-(n - 1)$  までの  $(n - 1)$  個に、0 を加えて、 $(n - 1) + (n - 1) + 1 = 2n - 1$  (個)  
 【答】  $2n - 1$  (個)

大阪府公立高 2021年

- 4 【解き方】 アは  $a$  より 2 大きい数だから、その値はつねに  $a$  の値より大きくなる。イは  $a$  より 2 小さい数だから、その値はつねに  $a$  より小さくなる。ウは  $a$  の 2 倍で、 $a$  は負の数だから、 $2a$  の値はつねに  $a$  の値より小さくなる。エは  $a$  の  $\frac{1}{2}$  倍で、 $a$  は負の数だから、 $\frac{a}{2}$  の値はつねに  $a$  の値より大きくなる。オは、 $-1 < a < 0$  のとき、 $a^2$  の絶対値は  $a$  の絶対値より小さくなるので、 $-a^2$  の値は  $a$  の値より大きくなる。よって、イ、ウ。  
 【答】 イ、ウ

大阪府公立高 2021年

- 5 【解き方】 B さんの回数を  $x$  回とする。B さんの回数との差の平均は、 $\{(+5) + 0 + (-3) + (-6) + (+2)\} \div 5 = -0.4$  (回) だから、 $x + (-0.4) = 47.6$  より、 $x = 48$   
 【答】 48 (回)

岡山県公立高 2021年

- 6 【解き方】 絶対値が 4 より小さい整数は、 $-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3$  の 7 個。  
 【答】 7 (個)

香川県公立高 2021年

- 7 【解き方】 絶対値は、㉗は 3、㉘は 0、㉙は 2 だから、小さい順に、㉘ → ㉙ → ㉗  
 【答】 ㉘(→)㉙(→)㉗

鳥根県公立高 2021年

- 8 【解き方】  $\sqrt{3} \approx 1.7$ 、 $-\frac{7}{3} = -2\frac{1}{3}$  だから、絶対値が最も大きいのは  $-\frac{7}{3}$ 。  
 【答】 ウ